

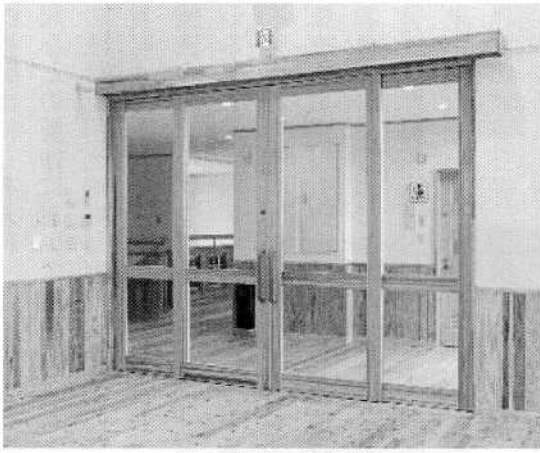
業界サーチ

企業

阿部興業(株)

スマイリー事業の新製品 集成框戸と専用枠を発売

阿部興業(株)(東京都新宿区、阿部清英社長)は文教施設向けの建材シリーズである「スマイリー事業」の中の新製品として、学校や保育施設に求められる安心・安全を最優先し



スマイリー集成框戸

た集成框戸及びその専用枠の発売を11月1日より開始した。平成26年の厚生労働省事故報告資

料によると、保育施設での事故は「室内」が最も多く、机や棚の角に頭や体をおつけることによる負傷を防ぐため「ガードなどによる工夫が必要」とされている。こうした調査結果を背景として、乳幼児や児童が生活する空間において安全性を考慮した建具類の開発に着手。今回、新たにガラス入りの集成框戸と専用枠を市場に投入する。

集成框戸は2段のガラスが入った仕様であり、上棧、中棧、下棧、框の部分に集成材を採用。R面取り加工を標準として、指はさみ防止ゴムを取り付けるなど、建具の設計及び仕様全体に室内事故防止の工夫を盛り込んだ。主な用途には保育園や幼稚園の室内開口部を想定。設計価格は2段ガラス框戸が6万5700円、引き違い枠が3万2000円(いずれも消費税別)。開口部の開閉時における危険性は今年3月に東京都生活文化局が家庭内事故の調査結果を発表し、ドアで指を挟まれた事故は2歳児が最多となっているなど、幼児が生活する空間での開口部には更なる安全性確保が要求されている。

組織

全国建具・関東ブロック協議会 平成29年度の会議を開催 各県の課題や要望を協議

一般社団法人全国建具組合関東ブロック協議会(大澤直也会長)が10月22日、神奈川県足柄下郡箱根町のホテルおかだ会議場で開催された。協議会には25名が出席。

協議会の冒頭、大澤会長は「全国建具の法人化後、初の関東ブロック

の開催となる。協議会の役員改選も全国建具の理事改選時に合わせることになり、特例で現体制が来年6月まで継続となった。建具を一般の人にも認識してもらうことが大事。そのためには展示会が効果的であるが、各自自治体と連携して建具業者の社会

的認識を上げていくことも必要となる。皆様の意見を聞きながら協議会を進めていく」と挨拶。来賓として参加した全国建具の佐田時信理事長は「全国建具は任意団体から一般社団法人に改組し、様々な事業を推進している。建具施工士の有資格者は500名を超えたが、まだ開催要望が多いため、年内に本部で講習会を開催する。我々は同業者であって異業種でもある。各事業所の事業は異なるが、会員一人一人が考え、有利に展開できるようにしたい」と、全国建具の事業展開に意欲を示した。